



星の王子様の言葉



寒い冬は苦手だという方も多いと思いますが、空気中の水蒸気が少ない冬は、星を観察するには適した季節らしいです。

私は、星と聞いて思い出すのが、サン・テグジュペリという、『星の王子様』の著者・パイロットです。映画『紅の豚』を創った宮崎駿監督もサン・テグジュペリのファンとして有名です。今日は私も好きなサン・テグジュペリの残した言葉を皆さんと一緒に味わってみたいと思います。

ア 心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目には見えないんだよ。

イ 地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたものだ。

ウ 他人を裁くより、自分を裁く方がずっと難しい。

エ 真実の愛は無限です。与えれば与えるほど大きくなる。

オ 未来とは、あなたが予知しようとするものではなく、自分で可能にするものだ。

カ 計画のない目標は、ただの願い事に過ぎない。

キ 人間は充実を求めているのであって、幸福を求めているのではない。

ク 人生には解決法なんかないんだ。あるのは、前に進む力だけだ。解決法は後からついてくるものさ。



紹介した言葉はほんの一部ですが、好きな言葉がありましたか？

私は、以前からアが好きで気を付けてきました。目に見えないものを感じることは、教師として大切な資質だからでしょうか。

彼が44歳で亡くなってから80年が過ぎようとしている今でも、多くの人を惹き付けるのは、彼の生き様や作品の言葉に、色あせない言霊（ことだま）があるからかもしれません。防寒対策して、冬の星空を御家族で見上げるのも楽しいかもしれませんよ。

いよいよ今年も残りわずかとなりました。本当にありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。よい年をお迎えください。

校長： 田中 省一

みんな輝いた音楽発表会

低学年は動物やかぼちゃなど身近な題材をもとにした楽曲が多く、身振り手振りを入れるなどかわいらしい工夫が凝らされていました。中学年は、使う楽器が増え、リズムも複雑なものになり、音やリズムが一つになるようにみんなで何度も練習してきた様子が伝わってきました。高学年になると夢や希望といった抽象的なものが題材となり、思いや感情を歌や演奏で伝えることも意識しながら技能を高めてきたことが伝わりました。

それぞれの学年や学級が、持ち味を生かして素敵な演奏や歌を聞かせてくれました。



PTAの取組を知っていただきました

11月25日（土）に県PTA委嘱公開喜界町大会が行われました。喜界小は「楽しみながら参加し、保護者間のネットワークを広げていくPTA」のテーマで、コロナ禍での活動の工夫や参加しやすいPTAづくり、地域との連携を中心に発表しました。

公開には、町内小・中・高PTAのほかに、島外からの参加者もあり、本町のPTA活動の取組や地域の様子などを知っていただけるよい機会になりました。

保護者の皆様には発表に向けての準備、当日の参加など、たくさんの御協力いただきました。本当にありがとうございました。



家庭教育学級

今年は、同じ日にアクセサリ作りと、フラワーアレンジメント二つの教室に別れて活動しました。どちらの教室でも、たくさんの材料が準備されていて、参加した人それぞれのアイデアが生かされた素敵な作品ができあがっていました。

楽しい教室にしてくださった講師の先生方、本当にありがとうございました。



島ゆみたの学習

10集落10名の地域の方が、3年生に島ゆみたを教えてくださいました。学習の中では、温かく触れ合う姿も見られ、大変ありがたく思っています。1月の町の大会に参加する予定です。残りの練習も、楽しく頑張っています。



1月の行事

日・曜	行 事 等	日・曜	行 事 等
9日(火)	3学期始業式	18日(木)	三校交流学习(特別支援学級)
16日(火)	鹿児島学習定着度調査 国理(5年)	20日(土)	漢字検定(申込みをした人)
17日(水)	鹿児島学習定着度調査 社算(5年)	24日(水)	火災避難訓練
18日(木)	学校保健委員会「スマホ・ケータイ安全教室(リモート講演)」	25日(木)	英検ESG(6年)
		26日(金)	喜界中入学説明会(6年)

